

「港湾課事業のご紹介」

今回は、港湾課所管の事業についてご紹介します。

港湾課では、大島・利島・新島・式根島・神津島における7港湾・10漁港・3空港・12海岸について、利用者の皆様が安全・快適にご利用いただけるように整備・管理しています。

【大島】では、元町港、岡田港、波浮港、野増漁港などの整備を進めています。この中で皆様におなじみの港と言え、大島の玄関口として活躍している「元町港」と「岡田港」ではないでしょうか。

元町港では、人と車両の分離を目的に先端部から徐々に岸壁を拡幅しています。岸壁拡幅後は、岸壁の幅が現在の26mから50mになり、これまでよりも安全で快適な歩行空間や車両空間が確保できるようになります。併せて、皆様が岸壁を使い易いように係留施設の設置、路面の補修などを今後行う予定です。工事期間中は、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、ご協力の程よろしく願いいたします。

岡田港では、海水浴シーズンに賑わう「日の出浜人工海浜施設」を整備しました。整備から20年以上が経過した今では、観光などで来島された方にも広く親しんでいただいています。ところで、この施設は、岡田港海岸の海岸保全施設の一部としての顔も持っています。岡田港海岸は、海岸法によって海岸管理者の東京都知事が海岸保全区域として指定・管理しており、波浪から海岸を防護するために、護岸、離岸堤などの海岸保全施設を整備しています。日の出浜人工海浜施設は、これら海岸保全施設の一部を海洋レクリエーションの場として利用するために整備したもので、皆様に快適にご利用いただけるよう、大島支庁港湾課が整地や清掃などの維持管理を行っています。

【利島】での主な事業としては、①定期船接岸率の向上を目的とした防波堤の整備、②海岸の浸食対策と海水浴場の整備を目的とした突堤・人工海浜の整備などがあります。

①については、今年度、東防波堤のケーソン（箱型のコンクリート）据付け工事を実施しています。利島では、冬季における定期船の接岸率向上が重要な課題であり、防波堤の整備によって、うねりや越波の影響を低減できるため、港内静穏度の向上が見込めます。

②については、今年度より整備を開始しました。今年度は、人工海浜の基礎となるスロープ・遊歩道部分の整備工事を行っています。翌年及び翌々年に突堤を造成し、平成27年度に砂を投入し、完成する予定です。

工事期間中は、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、ご協力の程よろしく願いいたします。

【新島・式根島】での主な事業は、新島港をはじめとする港湾、漁港及び新島空港の整備・管理などがあります。

海の主な玄関口となる新島港では、船客待合所や緑地施設、新島港日除け雨除け施設「ぬいねえどう」が完成し、今年は「島民まつり ゆうばま祭」の会場として利用されました。現在、新島港防波堤(北)の整備が進められており、工事延長300mのうち約半分が完成しています。夏季期間中には、「ぬいねえどう」内に、新島港、羽伏漁港の変遷を紹介した写真パネルの他、昔の大型船からの舳作業風景や離島ブームなどの懐かしい写真も展示しました。

空の玄関口となる新島空港では、昨年度に駐車場の舗装補修工事が完了しました。来年度以降も雨除け施設を整備するなど更に快適な施設にしていく予定です。また、空港管理の一環として緊急対応力強化を目的とした訓練を定期的に行っており、10月には滑走路外への航空機の軟着陸を想定した消火救難訓練を実施しました。

新島は、これから冬季を迎え、季節風や波浪等、気象条件が厳しくなっていく予定です。施設の整備、管理などには万全を期しておりますが、不測の突風・高波・津波などには特に注意して頂き、港湾・漁港・空港の安全な利用をお願いします。

【神津島】の主な事業は、前浜海岸の離岸堤（潜堤）改良工事及び養浜工事などがあります。

離岸堤（潜堤）は、侵食対策として平成15年度に完成しましたが、台風等で度々被災を受けています。このため、大型起重機船により被災ブロックを撤去し、大型ブロック（約30t/個）に置き換える改良工事を今年度から行っています。

養浜工事は、三浦漁港の泊地しゅんせつ土砂を前浜海岸へ運搬し、海岸の砂浜を保全する工事であり、こちらも今年度から行っています。

平成25年9月の前浜海岸で行われる国体男子ビーチバレーボール大会の際、多くの観光客、島民の皆様が安全・快適に海岸を利用していただけよう、海岸整備に努めてまいります。